

2017

山梨県U-12サッカーリーグ

リーグ実施・運営資料

<平成29年度>



子ども達は、もっとサッカーを楽しむことでもっとサッカーが好きになり、もっと上手になろうと思っているのではないのでしょうか。

私たちはそう信じています。

今、子ども達をもっと努力すること(プレーヤーズファースト)や相手のチーム、指導者、応援してくれる仲間や家族をリスペクトできるようなサッカー環境づくりが必要だと感じています。

指導者、保護者など、子ども達を見守る全ての大人がチームとなって、環境づくりの活動を行うことが山梨県U-12リーグ実施運営の理念であると考えます。

2017山梨県U-12サッカーリーグ レギュレーション(実施要綱)

項目	内 容	説 明	
名称	山梨県U-12サッカーリーグ	U-12リーグが4種委員会の公式戦であることを明示した。 公式戦への参加は、4種登録チームの義務であり、本大会の目的を理解し、その運営に協力することを求めるものであることを意味している。	
主催	山梨県サッカー協会4種委員会		
主管	山梨県4種委員会(U-12リーグ運営委員会)、U-12リーグ グループ実行委員会	4種委員会での主管組織を明示した。 リーグ全体の運営をU-12リーグ運営委員会が、各グループリーグの実施を各グループごとの実行委員会が行う。	
後援		後援団体等があった場合は掲示する。	
期間	次の期間において4種委員会が指定する日に実施する。 前期 平成29年4月2日(日)～平成28年7月23日(日) 後期 平成29年9月10日(日)～平成29年12月24日(日)	「U-12リーグ戦デー」の指定を行うことを示している。ただし、指定日に実施できない試合がある場合はグループの責任において処理することとする。 この期間内に前期リーグを開催する。 この期間内に後期リーグを開催する。	
会場	各U-12リーグ グループ実行委員会での確保	【原則】 会場確保に当たっては、各グループごとに「U-12リーグ戦デー」に会場を確保することが原則とする。	
	山梨県4種委員会(U-12リーグ運営委員会)による確保、調整	4種委員会が、年間通じて会場の一部を確保すると共に、提供調整を行う。	
目的	U-12リーグは、山梨のサッカー文化の創出を図るとともに、日本サッカーの将来を支える選手の育成環境として、トレーニング成果、課題を引き出す機会を提供することを目的とする。	リーグ戦という機会の提供を通じて「サッカーを文化として定着させること」、「選手個々の成長を獲得するための指導環境、育成環境を作ること」が目的である。 この目的を参加チーム全体で共有し、実現に向けた活動としてリーグ戦を位置付けて活動することを意味している。	
目的の共有	本U-12リーグは、育成に目を向け、チームエゴに偏ることなく、指導者、保護者等関係者が協力して環境づくりに取り組むことで実現するリーグである。 目的を共有して事業運営に当たるため、以下の取り組みを行う。 ①グループリーグ実行委員会の設置による全チームの運営協力。 ②リーグ運営委員会の全体運営管理、指導。 ③技術部、審判部の関わりによる指導者育成体制の確立。 ④各チーム保護者も含めたサッカー文化の醸成。	各チームで目的を十分に認識した上で、公式戦の意味、試合の位置づけを理解し、試合結果の評価と課題への取り組みを選手、指導者が行うことが目指すべき姿である。 目的を共有した上で各チームの責務を示した。 ①グループリーグのすべての参加チームが、リーグを実施する主管者である。 ②各グループリーグは、リーグ運営委員会より運営管理、指導を受ける。 ③技術部、審判部は、指導者育成体制の確立への取り組みを提案し、各グループリーグはこれを実施する。 ④サッカー文化(サッカーを楽しむ、個の育成を図る)の醸成には、各チーム保護者も含めた理解と協力が不可欠である。 ●「グループ実行委員会運営マニュアル」を参照。	
前期のグループ編成	グループリーグ(Gリーグ)		グループリーグは、拮抗した試合環境を作るため3つの段階に分けてリーグを構成する。
	G-レッド	G-ブルー	
	別途グループ分けイメージを参照		ハイクラスの段階のリーグを「グループリーグ」と称し、略称を「Gリーグ」とする。 ①U-12リーグ運営委員会で振り分けられた各地域別チーム数により、3つのグループ(前期各12チーム、後期8チーム)を構成する。 ②各地域別チーム数について、各地域で承認されたチームが参加する。 ③各グループごとにグループリーグ実行委員会を組織する。
	ビーチリーグ(Pリーグ)		ミドルクラスの段階のリーグを「ビーチリーグ」と称し、略称を「Pリーグ」とする。 ①～③は、Gリーグと同じ。
	P-ウエスト	P-セントラル	P-イースト
	別途グループ分けイメージを参照		
	ストロベリーリーグ(Sリーグ)エントリー数によりグループ数を調整。		ロークラスのリーグを「ストロベリーリーグ」と称し、略称を「Sリーグ」とする。 ①～③は、基本的にGリーグと同じだが、各グループのチーム数については、U-12リーグへの参加チーム数により変更がある。 エントリー数により、グループ数を増やし対応する。
S-ウエスト	S-セントラル	S-イースト	
別途グループ分けイメージを参照			
参加資格	1	日本サッカー協会に第4種加盟し、山梨県4種委員会に所属するチームであること。 ただし、複数エントリーを希望する場合は、加盟チームに対し2チームまで出場を認める。 複数チームエントリーをするチームにあつては、2チーム目がU-11のみで編成されるチームであつてはならない。	参加条件の大前提 * 4種委員会の主催であることから、登録チームが前提となる。 参加の特例① * このリーグが育成を目的とするリーグであることから、出場機会を確保するための特例。 * 2チーム以上の参加は、加盟チームへの配慮であるから、それ以上参加させたい場合は2チーム登録をすること。 * チームとしての参加(グループリーグ運営協力も含むチームの責務が担保されること)が前提。
	2	U-12リーグへのチームエントリーは、運営委員会が指定する日までに各地区理事を通じて行うものとする。	
	3	当該チーム所属の選手であるとともに、(財)日本サッカー協会発行の写真付き選手証を所持していること。	
	4	前期、または後期の期間中に同一選手が本リーグ内の異なるチームへ移籍後、再び本リーグに出場する場合は、山梨県4種委員会移籍に関する内規の取り扱いに準ずる。 ただし、加盟チーム内で複数エントリーをする場合は、前期、後期を同一チームでプレーすることを前提にエントリーチーム間の移動を認める。	60日規定の適用
	5	資格について疑義が提出されたときは、本リーグ運営委員会において審議する。	リーグ運営の課題解決機関は、U-12リーグ運営委員会である。
選手の登録	1	前項の資格を有する選手の登録人数は制限されない。	エントリーチームの登録制限に関する人数制限規定は設けない。
	2	前項の資格を有する選手の年齢条件は制限されない。	U-11以下の選手であっても参加できる。
	3	エントリー登録は、U-12運営委員会が定める登録用紙によりU-12リーググループ実行委員会において管理される。	運営委員会、実行委員会双方で管理 【エントリー登録用紙】
	4	エントリー登録は、各リーグ開幕までに各グループ実行委員会に提出する。	実行委員会リーダーは、取りまとめて各グループ内で共有するとともに、運営委員会に写しを提出する。 【エントリー登録用紙】

項目	内 容		説 明
グループ編成	1	Gリーグ、Pリーグとも、前期は12チームによる1回戦総当りのリーグ戦を行い、後期は8チームによる1回戦総当りのリーグ戦を行う。	各グループの試合数は、 前期 $12 \times (12-1) \div 2 = 66$ 試合。 後期 $8 \times (8-1) \div 2 = 28$ 試合 *リーグの実施にあたり「U-12リーグマッチデー」を設定し計画的に開催する。
	2	Sリーグは、前期10チーム・後期8チームを目的にグループを編成し、1回戦総当りのリーグ戦を行う。	各グループの試合数は、 前期 $10 \times (10-1) \div 2 = 45$ 試合 後期 $8 \times (8-1) \div 2 = 28$ 試合 グループ数、参加チーム数を調整しGPS合わせると年間概ね755試合を実施する。
	3	前期リーグは、次のグループ分けで行う。 Gリーグ、Pリーグ、Sリーグは、前年度各地域でのU-11のチーム成績等をもとに推薦されたレベルにより、地域性等を考慮して編成されたチームのグループリーグを行う。Gリーグは12チームの2グループ、Pリーグは12チームの3つのグループリーグを設定し、計60チームが所属する。Sリーグは、参加チーム総数によりグループリーグの数を設定する。	チーム自己申告を各地区で調整し、運営委員会に推薦する。 《グループ分けの手順》 ①各チームがU-11でのチーム状態を自己判断し、各地区理事にレベルを申告する。 ②理事は、各地区会議を開催し、各チームからの自己申告レベルを公表するとともに、運営委員会より提示された各レベルごとの地区割り当て数により、Gリーグ、Pリーグ、Sリーグの推薦チームを調整し、運営委員会に推薦する。【別紙U-12リーグイメージ参照】 ※各地域での承認についての提案として、各地域でのレベル協議に当たっては、その材料となる評価を事前(U-11時期)に行うようにする。その上で、エントリーチームごとに自己申告を行い、地域での承認(調整)を得て運営委員会に報告する。 (例) 各地区で実施するU-11での試合実績と所属選手の年齢層等を参考に、地区でのレベル分け基準ルールを作る。
	4	各リーグ、グループの編成は、山梨県U-12リーグ運営委員会において決定する。	③運営委員会は、各地区より提出された推薦結果を各レベルリーグごとに抽選して振り分ける。
	5	後期リーグのグループ分けは、前期の成績を基にリーグ間の自動入れ替えを行う。入れ替えに関するシステム(ルール)は以下のとおりとする。 ・Gリーグの2グループ下位とPリーグの各グループ上位が入れ替える。 ・Pリーグの各グループ下位と各グループ上位3チームが入れ替わる。 ただし、入れ替えが行われるリーグ間のグループ数が違う場合、昇格チーム数によって調整を行う。	※詳細は、別紙2.後期グループ分けのルールを参照 【グループ調整】 参加チーム数により、グループ数が変更となるため昇格・降格チーム数については前期終了後、又、後期参加チーム数に等を勘案して調整を行います。
	6	後期リーグにおいても各リーグのグループごとに実行委員会を組織し、グループ参加チームが協力して運営にあたる。	
試合方法	1	試合時間は、40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。延長は行わない。	選手への出場機会、プレー機会の確保を担保するため、20分ハーフの試合時間とする。
	2	競技規則は2017財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。 ●「山梨県U-12リーグ実施のガイドライン」を策定する。	【山梨県U-12リーグ実施のガイドライン】 山梨県U-12リーグ実施のガイドラインは、競技規則、8人制審判法、全日本少年サッカー大会規則を参考にしたガイドラインを示すもの。
審判	1	主審による一人審判制とするが、補助審判として1名がサポートする。	主審と補助審判の役割等については、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインにおいて規定する。
	2	競技規則2017年財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。 ●「山梨県U-12リーグ実施のガイドライン」を策定する。	
ルール	1	競技規則は2017年財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。 ●「山梨県U-12リーグ実施のガイドライン」を策定する。	
	2	警告、退場などの取り扱いは、これまでの4種大会に準じて行う。	警告、退場等の取り扱いについては、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインにおいて規定する。
グループ順位決定	1	試合の勝者は3点、引き分けは1点、敗者は0点の勝点を与えられ、勝点の多い順に、順位を決定する。ただし、最終合計点が同一の場合には、以下の順序により決定する。 〈1〉得失点差 〈2〉総得点の多少 〈3〉該当チームの対戦成績 〈4〉抽選(後期リーグへの昇格、降格の対象チームのみ)	
	2	予期せぬ事情によりグループリーグの試合が開催できない場合であって没収試合、不戦敗の取り扱いを行う際は、0-5のスコア—取り扱いとする。	「予期せぬ事情」とは、①試合中に競技選手の数が6人を下回った場合、②前期リーグ中に試合の消化が不可能となる要因が生じた場合、などグループ実行委員会において協議し、同意を得た試合について、原因チームと理由を明らかにしU-12リーグ運営委員会で承認を得た試合については、原因チームに対しU-9のスコア—で処理すること。 U-12リーグは山梨県4種委員会公式戦として開催され、これに優先する地域大会等はないことを理解の上実施されるものとする。
	3	前期Gグループの順位により、当該年度の全日本少年サッカー大会山梨県予選のシードが与えられる。	前期G-レッド・G-ブルー各グループの上位(1位~4位)の8チームをシードする。 各グループの順位を反映し、1位~8位の順位付けはしない。
	4	後期Gリーグの順位に応じて、当該年度のニッサングリーンカップ選手権大会予選リーグのシードが与えられる。	後期Gグループリーグの上位、ならびに全少大会山梨県予選決勝進出した2チームの計4チームをシードする。 重複した場合には、G-「ウインド」「フォレスト」「マウント」各グループリーグの3位チームの中から、勝点、総得点が高い順から選出する。 【ニッサングリーンカップ】 4種最後の選手権として、3種への仕行大会の意味もあり、これまで通り11人制として別途定める。
表彰	1	前期リーグ表彰 前期のG~Sの各リーグにおいて、それぞれ1位となったチームを表彰する。	G~Sの各リーグにおいて1位を表彰する。 G~S=8チーム YFA4種委員会より表彰
	2	後期リーグ表彰 後期のG~Sの各リーグにおいて、それぞれ1位となったチームを表彰する。	G~Sの各リーグにおいて1位を表彰する。 G~S=11チーム YFA4種委員会より表彰
	3	フェアプレー賞 前期リーグ、後期リーグにおいて、フェアプレー賞を設け表彰する。	(フェアプレー賞の選考) フェアプレー賞の選考は、グリーンカードの活用、自立した選手、リスペクトの姿勢なども含め新たに【U-12リーグフェアプレー表彰選考内規】を定める。 YFA4種委員会より表彰

2017・平成29年度U-12リーグ グループ イメージ

前期 4月 2日 5月 1日 6月 2日 7月 1日 計 6日

後期 9月 2日 10月 2日 11月 1日 12月 1日 計 6日

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

Gグループ

24 チーム
試合数 132
 $= [12 \times (12 - 1) \div 2] \times 2$



1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7
8

24 チーム
試合数 84 ゲーム

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

Pグループ

33 チーム
試合数 165 ゲーム
 $55 \times 3 = 165$



1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7
8

32 チーム
試合数 112 ゲーム

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

Sグループ

21 チーム
試合数 100



1
2
3
4
5
6
7
8

1
2
3
4
5
6
7

1
2
3
4
5
6
7

22 チーム
試合数 70

計 78 チーム
前期計 397 試合

計 78 チーム
計 266 試合
年間計 663 試合